

除菌

抜群の除菌能力

特徴

除菌と  
同時に洗浄

安定

粉末状で安定

安全

高い安全性

ピュアクレンシリーズの除菌成分は（ジクロロイソシアヌル酸）です。

通常食品工場で使用されている次亜塩素酸ナトリウムとは大きく異なります。

## 業務用塩素系除菌洗浄剤

# PureClean<sup>ピュアクレン</sup>

活性持続型除菌洗浄剤配合

50・25・0・EX

本品は塩素剤が配合されています。酸性洗剤や漂白剤等の薬剤と混合すると、有毒な塩素ガスが発生しますので、同時に使用はしないでください。

環境&衛生化学薬品専門メーカー

**PCC PureChemica**

[purechemica.jp](http://purechemica.jp)

〒720-0031 広島県福山市三吉町 3丁目 2-16-302  
TEL・FAX 084-954-0853 Mobile.080-9352-0555



# ジクロロイソシアヌル酸

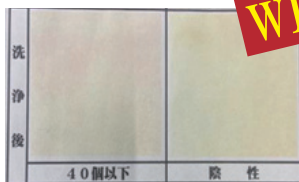
VS

# 次亜塩素酸ナトリウム

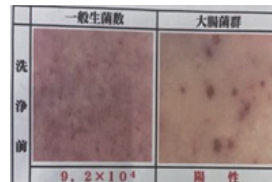
除菌力  
非常に  
強力

安全性  
高い

腐食性  
軽微



ピュアクレンシリーズでの結果



次亜塩素酸ナトリウムでの結果

除菌力  
普通

安全性  
強アルカリ性で  
手荒れ等

腐食性  
鉄に対して  
腐食性有り

ピュアクレンシリーズは、紫外線による残留塩素の分解消費量が非常に少ない。  
次亜塩素酸ナトリウムは、運搬や衝撃、次亜タンクへの投入時に塩素失活、紫外線による残留塩素の分解消費量も大きい。

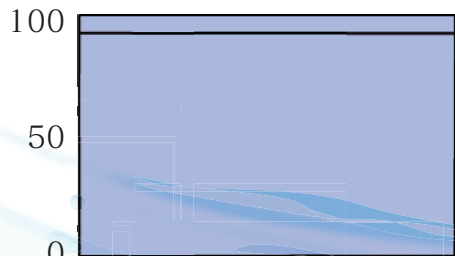
除菌成分であるジクロロイソシアヌル酸に、特殊な洗浄成分が配合されています。それぞれの役割に決まった部分に働きかけ、除菌と洗浄をすばやく同時に行います。

ピュアクレン使用時のプログラム

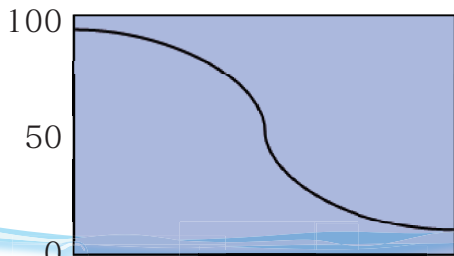
洗浄除菌 → 水洗 2工程

除菌と洗浄が一度に行える為、その後は水洗するだけで終了します。

作業時間の短縮 人件費の削減 水道光熱費の削減にもなり、誤った使用作業の防止に繋がります。また、ピュアクレンの洗浄成分は植物系タンパク質と動植物系油に。ジクロロの除菌成分は芽胞菌を含むほとんどの細菌やウイルスにも抜群の除菌効果を発揮します。



ピュアクレン塩素失活グラフ



次亜塩素酸ナトリウム失活グラフ

今現在では、各社（薬品メーカー）独自の「次亜塩素酸ナトリウム」主体配合の殺菌洗浄剤がありますが、次亜塩素酸ナトリウム（NaClO）希釈タイプ（アンチホルミン）は保管状態が悪いと、徐々に塩素失活を起し、除菌能力が低下します。その他（電解水、ハセップ水、オゾン水）ピュアクレンは、使用時に溶かして液体にする為、いつでも安定した除菌液を作る事が出来ます。

粉末タイプなので、1年間保管してもほぼ 99% 除菌能力は失われません。また、粉末タイプは液体タイプに比べコンパクトになる為、輸送費を抑えられ、保管場所にも困りません。

特徴

芽胞菌対策に温度を（90~120℃）まで高温にしなくても芽胞菌を死滅させることができます。常温で（25~40℃）です。

◎ 枯草菌、ウェルシュ菌、セレウス菌、ボツリヌス菌、その他

※芽胞菌を死滅できる塩素量は（500ppm）です。水 10ℓ に約、70g ルーベを投入してください。  
★ルーベの粉末を溶かす場合は、必ずお湯 40℃ で予め溶かしてから、水の量を調整してください。

LD <sub>50</sub> マウス経口	
ピュアクレンシリーズ	6,850 mg / kg
食塩（塩化ナトリウム）	2,980 mg / kg
次亜塩素酸ナトリウム	12 mg / kg

量が多い方が安全性が高いと言える為、塩化ナトリウム（食塩）より安全と言えます

※LD<sub>50</sub>とは一定の動物の 50% を死亡させるだけの薬剤の量を、その動物の体重 1 kg 辺りの薬剤量 (mg) で表したものです。

★ピュアクレンシリーズ：水 10ℓ に対して (30g) 有効塩素濃度約 200ppm

## ■ピュアクレンシリーズ使用場所例

高圧  
洗浄機  
使用OK

### ■ピュアクレン 50：発泡タイプ

食品加工機械／調理台／調理器具／食器手洗い／浸漬／洗濯機（エプロン）／床、壁／フキン、タオル／白衣／その他

### ■ピュアクレン 25：微発泡タイプ

食品加工機械／自動食器洗浄機／調理台／浸漬／洗濯機（エプロン）／調理器具／床、壁／フキン、タオル／醸造発酵用タンク／その他

### ■ピュアクレン 0：無発泡タイプ

C I Pライン／パイプライン／特殊充填機／醸造発酵用タンク／自動食器洗浄機／大型タンク内混合機／機械部品／フキン・タオル／その他

### ■ピュアクレン EX：微発泡タイプ（動植物性油脂）

調理器具、C I Pライン／パイプライン／特殊充填機／醸造発酵用タンク／自動食器洗浄機／大型タンク内混合機／浸漬槽タンク／床（グレーチング）／その他

### ★ピュアクレンは食品会社だけではなく、あらゆる業種にご使用頂いております。

航空会社／鉄道会社／病院／福祉施設／学校／畜産農業（養鶏、酪農）／動物病院動物園／ペットショップ／温泉施設／飲食店／魚市場／

ハウスクリーニング会社ビルメンテナンス会社／産廃処理施設／スーパーマーケット

※ゴルフボール・軟式野球ボール・テニスボール等の洗浄にも使用頂いております。

■有効なウイルス及び細菌一覧表 【1. ウイルス】

	ウイルス名	主な動物の疾病
外膜のあるウイルス	コロナウイルス	家禽（鶏、アヒル、七面鳥）気管支炎（IB）、豚腸炎（TGE）、犬ウイルス性腸炎、猫伝染性腹膜炎
	ヘルペスウイルス	牛伝染性鼻気管炎（IBR）、豚オーエスキー病、犬、猫伝染性鼻気管支炎
	イリドウイルス	アフリカ豚コレラ（ASF）
	オルトミクソウイルス	鳥インフルエンザウイルス、豚、馬インフルエンザ
	パラミクソウイルス	ニューカッスル病（トリ肺脳炎）、犬ジステンパー
	レトロウイルス	鶏白血病、馬伝染性貧血病、猫後天性免疫不全（FIV）
	ラブドウイルス	豚水泡性口内炎、狂犬病
	トガウイルス	豚コレラ（PRRS）、牛ウイルス性下痢症、サル黄熱病、ダニ媒介性脳炎
	アレナウイルス	無症候宿主、アメリカ出血熱群やラッサ熱の原因
	ブニアウイルス	牛、ヤギ、ヒツジ（リフトバレー熱）、げっ歯類（腎症候性出血熱、ハンタンウイルスの宿主）
外膜のないウイルス	アデノウイルス	鶏産卵低下症候群、犬伝染性肝炎、ハムスター腫瘍ウイルス
	ビルナウイルス	ニワトリ伝染性ファブリキウス嚢病（ガンボロ病）
	パルボウイルス	牛、豚、犬パルボウイルス感染症（胃腸炎）、猫汎白血球減少病
	ピコルナウイルス	豚、牛口蹄疫、ブタ水疱病、（皮膚、粘膜症）、豚テツツェン病、無菌性髄膜炎（中枢神経感染症）
	ポックスウイルス	鶏、豚痘瘡、偽牛痘
	レオウイルス	鶏ウイルス性関節炎、豚、牛嘔吐下痢症（ロタウイルス）
	パポバウイルス	ウサギ、ハムスター、ヒツジ、牛、シカ、馬、犬、猿乳頭腫
	カリシウイルス	ブタ水疱性発疹、ネコ呼吸器官障害

## ■有効なウイルス及び細菌一覧表 【2. 細菌】

	細菌名		細菌による主な疾病
グラム陽性菌	Bacillus anthracis	炭疽菌	牛、馬、ヒツジ等の草食性家畜、皮膚炭疽、肺炭疽、腸炭疽（伝染病）
	Bacillus cereus	セレウス菌	溶血性毒素を出す（食中毒菌）
	Clostridium perfringens	クロストリジウム	動物の壊死性腸炎
	Enterococcus	腸球菌	病原性は低いが、稀に心内膜炎、尿路感染症、食中毒を起こす
	Listeria	リステリア	免疫力の低い動物に髄膜炎や敗血症を起こす
	Staphylococcus	ブドウ球菌	ブドウ球菌性肺炎、敗血症、骨髄炎、腸炎を起こす
	Leptospira	レプトスピラ	鶏、犬等で腎臓、肝臓、神経系を冒す
グラム陰性菌	Bordetella	ボルデテラ菌	犬の伝染性気管支炎、(ケンネルコフ)
	Brucella	ブルセラ菌	家畜や動物の流産、精巣炎を主徴とする感染症
	Campylobacter	カンピロバクター	鶏、豚等の動物に腸炎を起こす
	Escherichia coli	大腸菌	動物に胃腸炎を起こす食中毒菌
	Haemophilus	ヘモフィルス	鶏、伝染性コリーザ、豚脳膜性肺炎等、動物に鼻腔炎、中耳炎、肺炎を起こす
	Klebsiella	クレブシエラ	豚鼻炎等、動物の気管系に炎症を起こす
	Mycobacterium	マイコバクテリウム	牛、ヒツジに慢性下痢症を起こす、ラット、マウス、ハムスターに肉芽を起こす
	Mycoplasma	マイコプラズマ	牛肺疫、ヤギ伝染性脳膜肺炎、豚流行性肺炎等
	Pasteurella	パスツレラ	牛出血性敗血症、家畜コレラ、動物の肺炎や化膿の原因菌
	Proteus	プロテウス	稀に尿路感染、創傷感染を起こす
	Pseudomonas aeruginosa	緑膿菌	免疫機能が低下した際に、敗血症、肺炎を起こす
	Salmonella cholerasuis	サルモネラ	ブタのチフス症
	Salmonella enteritidis	サルモネラ	急性胃腸炎
	Salmonella typhi	チフス菌	胃腸症状、肝、脾、骨髄等に全身感染症を起こす
	Shigella sonnei	赤痢菌	細菌性赤痢と急性胃腸炎の原因
真菌	Aspergillus	アスペルギルス	肺、気管支、脳腔、皮膚、外耳、副鼻腔、眼に壊死性、肉芽腫性の病変を形成
	Candida albicans	カンジダ	皮膚、粘膜カンジダ症
	Fusarium	赤カビ	牛肺気腫、毒素による中毒
	Microsporium canis	小孢子菌	ネコ、犬、サル等に頭部、体部白癬を起こす
	Trichophyton	白癬菌	家畜、ペットの皮膚真菌症